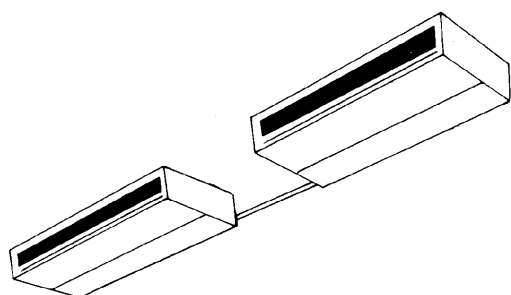


MITSUBISHI

三菱 **産業用** パッケージエアコン

取扱説明書

(フリーコンポタイプ)



もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること	1
故障をさけるために必ず守ること	4
各部名称	5・6
ご使用方法と運転内容 温調運転	7
ご使用方法と運転内容 室温調節のしかた	8
ご使用方法と運転内容 現在時刻の合わせ方	9
ご使用方法と運転内容 タイマーの使いかた	10
運転温度範囲のめやす	11
上手な使い方	12
お手入れのしかた	13
こんなときには…Q&A	15
長期間ご使用にならないとき	16
保証とアフターサービス	17
移設・工事・点検について	18
仕様・別売品ご紹介	19
警報システムの設置について	20



省エネで 守る環境 豊かな暮らし



このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。





- ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとは大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたときお役に立ちます。
- なお、受注仕様品につきましては製品の細部がこの説明書と若干異なる場合があります。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告 △注意 の表示で区分して説明しています。

■本文中に使われる“図記号”の意味は次のとおりです。

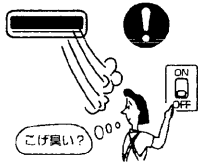
 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの。

	絶対に行わないでください。
	絶対に触れないでください。
	必ずアース工事を行ってください。
	必ず指示に従い、行ってください。

警告

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切る。

- 異常のまま運転を続けると、故障や火災・感電等の原因になります。お買上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。

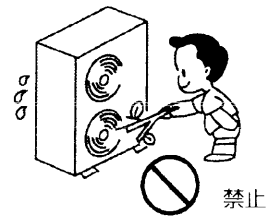


小部屋へ据付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を。

- 万一冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。限界濃度を超えない対策については、お買上げの販売店にご相談ください。

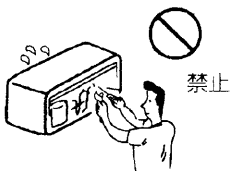
空気の吹出口や吸込口に指や棒等を入れない。

- 運転中は内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。



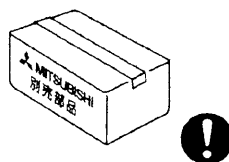
お客様自身で分解・修理・移設はしない。

- 修理・設置等に不備があると、爆発・火災・感電・水漏れ等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。



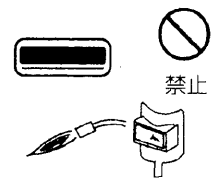
電気ヒーターなどの別売部品は、必ず当社指定の製品を使用し、取付けは専門業者に依頼する。

- ご自分で取付けをされ不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。



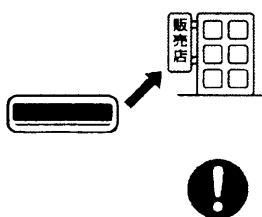
冷媒の加熱にご注意。

- 冷媒が火などに触れると分解して有毒ガスが発生し、ガス中毒の原因になります。エアコン設置の密閉した部屋内で溶接機などを使用しないでください。



据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

- ご自分で据付け工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。



長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない。

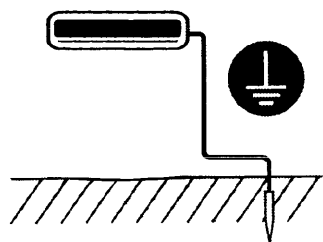
- 体調悪化や健康障害の原因になります。



⚠ 注意

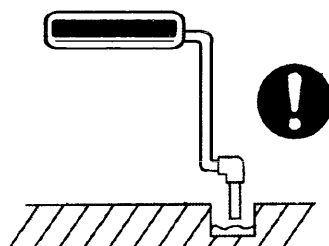
アース工事を行う。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続してください。
アースに不備があると、感電、発煙、発火およびノイズによる誤動作の原因になります。



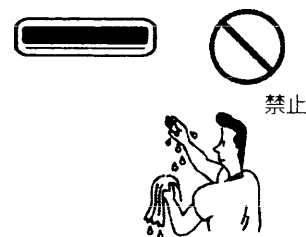
ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に施工し、結露が生じないように断熱処理をする。

- 配管工事に不備があると、水漏れの原因になります。



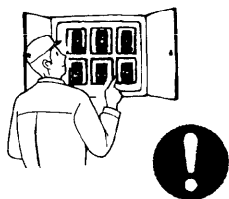
濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になります。



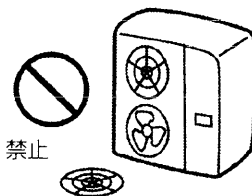
漏電遮断器を取付ける。

- 取付けていないと、感電の原因になります。



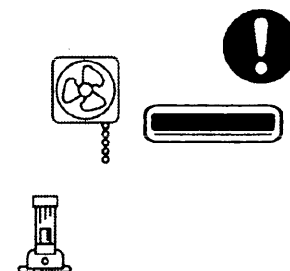
室外ユニットのファンガードを取外さない。

- ファンが露出し、ケガの原因になります。



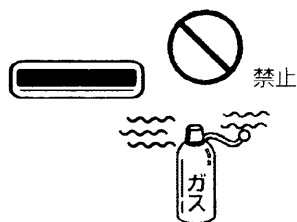
燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。

- 換気が不十分な場合は、酸欠事故の原因になります。



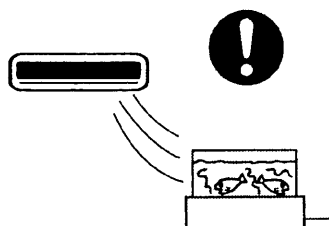
可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には設置しない。

- 万一ガスが漏れて製品の周囲に溜まると、爆発の原因になります。



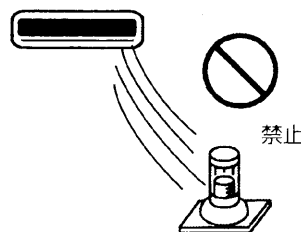
食品・動植物・精密機器・美術品の保存等、特殊用途については、確認の上使用する。

- 本来の用途以外に使用すると、食品の品質低下等の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



空調機の風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。

- 燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。



⚠ 注意

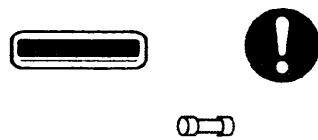
製品を水洗いしない。

- 感電の原因になります。



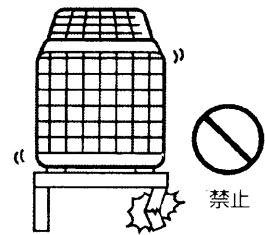
ブレーカーやヒューズは正しい容量のものを使用する。

- 針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。



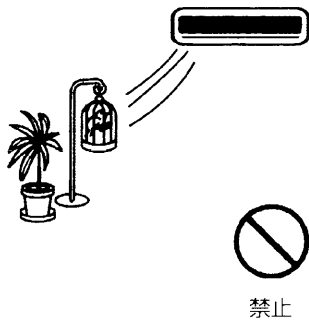
据付台などが痛んだ状態で放置しない。

- 製品の落下につながり、ケガの原因になります。



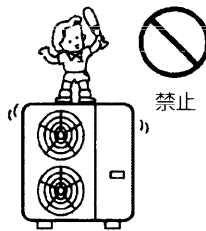
空調機の風が直接あたる所に動植物を置かない。

- 悪影響をおよぼす原因になります。



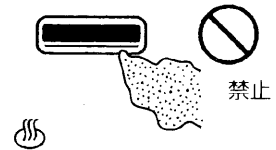
室外ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしない。

- 落下、転倒によるケガの原因になります。



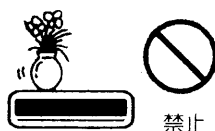
特殊雰囲気中では使用しない。

- 油・蒸気の多いところや、酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用するところで使用しますと、性能を著しく低下させたり、感電、故障、発煙、発火等の原因になります。また、有機溶剤、腐食ガス（アンモニア、硫黄化合物、酸等）の雰囲気では、ガス漏れ、水漏れの原因になります。



製品の上に花瓶等水の入った容器を載せない。

- 水がこぼれたとき、製品内部に浸水し、感電の原因になります。



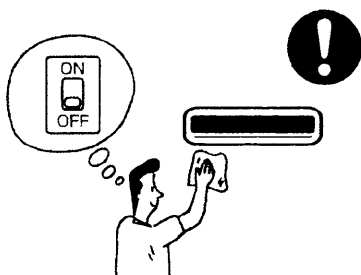
圧縮機や冷媒配管などに素手で触れない。

- 冷媒の状態により、高温あるいは低温になり、火傷・凍傷の原因になります。



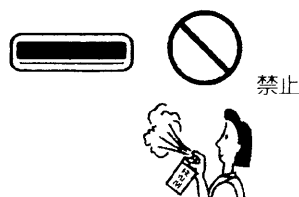
掃除をする時は、運転を停止し、電源スイッチを切る。
(電源プラグ付きの製品は、プラグを抜く。)

- 運転中は内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。



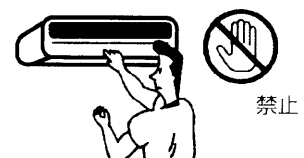
殺虫剤・可燃性スプレー等を製品の近くに置いたり、直接吹きかけたりしない。

- 火災・変形の原因になります。



製品内の金属エッジに素手で触れない。

- ケガの原因になります。

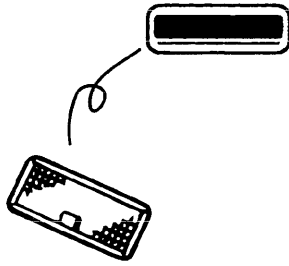


故障をさけるために必ず守ること

使用上のお願い

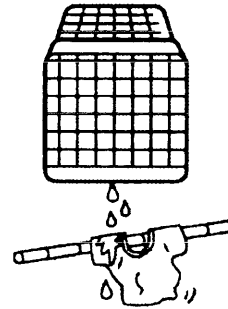
エアフィルターを外したまま使用しない。

- 内部にゴミがつまり、故障の原因になります。



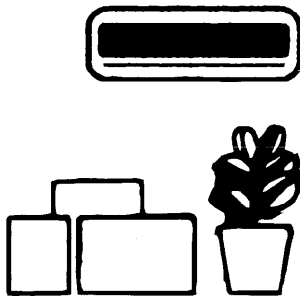
室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない。

- 運転状態により露が落ちることがあります。



吹出口・吸込口の近くに物を置かない。

- 能力低下や故障の原因になります。



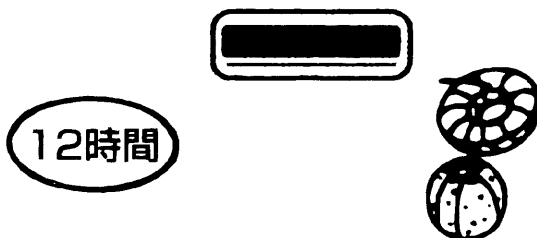
使用温度範囲を守る。

- 範囲外で使用すると故障の原因になります。
(11ページをご覧ください。)



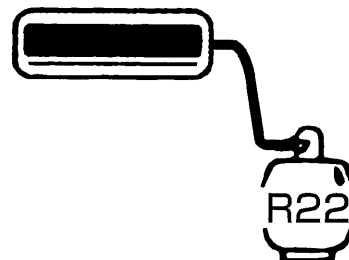
長時間運転停止の後、再運転する場合は、12時間以上前に電源スイッチを入れる。

- シーズン中は電源スイッチを切らないでください。圧縮機故障の原因になります。



冷媒回路内に指定冷媒 (R22) 以外の物を混入させない。

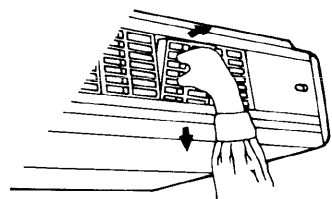
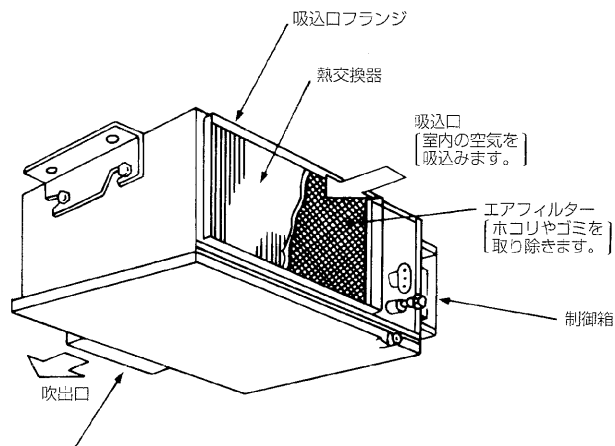
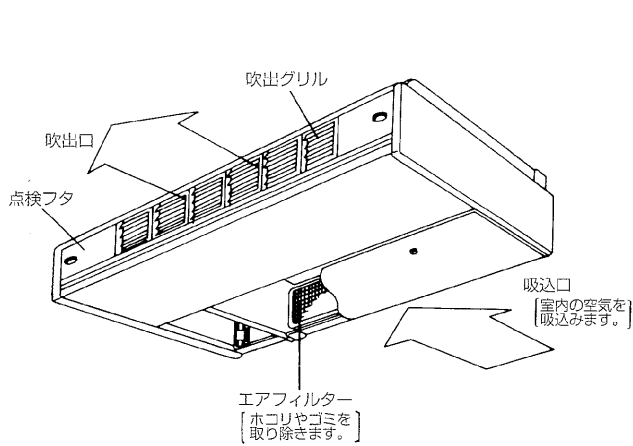
- 空気などが混入すると、破裂や故障の原因になります。



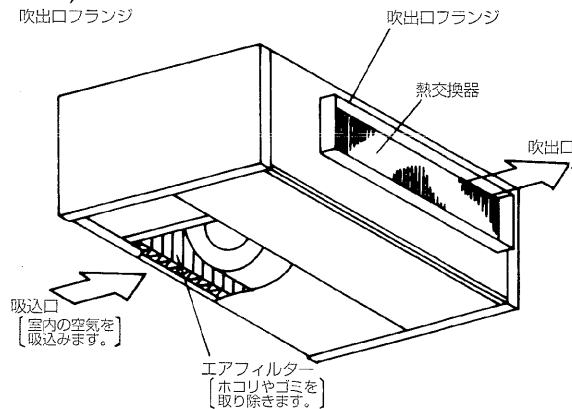
各部の名称

本体部分

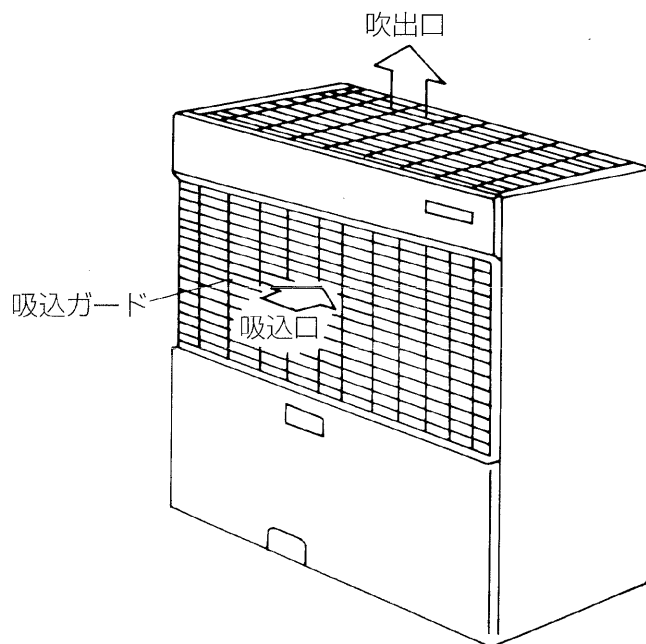
室内ユニット



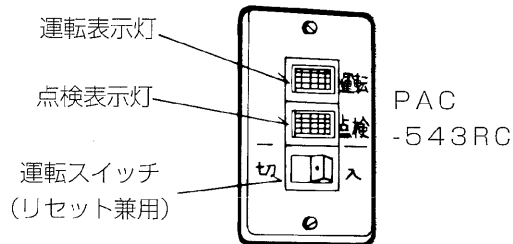
吹出グリルは、風向を四方へ変えることができます
(グリルは、下方に引き下げながら上部を手前に引いて
外し向きを変えてください。)



室外ユニット



別売室外ユニット用リモコンパネル



室外ユニットの運転を完全に止める場合に
使用します。
運転スイッチを切る場合には、6ページに
示す室内リモコンの「運転/停止」ボタンを切
った後、3分以上たってからにしてください。

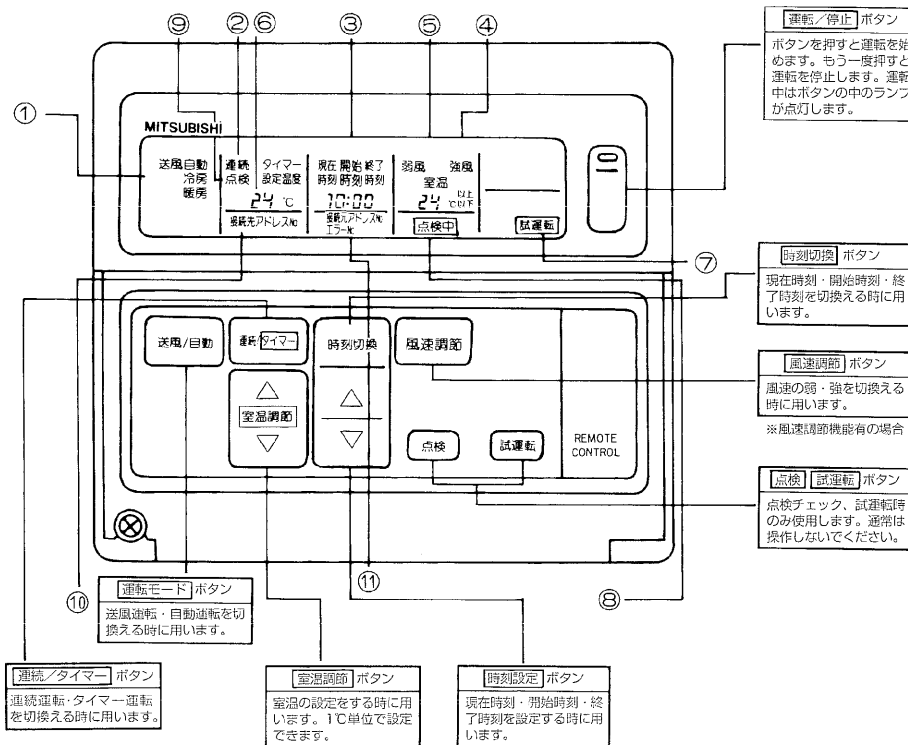
リモコン

- ・C-R40FA (風速調節有)
- ・C-R40NA

リモコンの操作

液晶表示の内容

- 操作は一度セットすると、その後は **運転/停止** ボタンの操作だけで、繰り返しで使用になれます。
- **送風/自動** ボタンは1回押すごとに“送風”・“自動”が切り換わります。運転内容は表示部で確認してください。
- **運転/停止** ボタンを押す前に、室外ユニットの元電源及び別売リモコンパネルをつけている場合は運転スイッチを必ず入れておいてください。



表示	表示内容
① 運転モード	運転状態を表示します。
② 連続 タイマー	連続運転タイマー運転のモード表示をします。
③ 現在時刻・開始時刻・終了時刻	現在時刻・運転開始時刻・終了時刻の設定確認の時表示します。
④ 風速	選択された風速ノッチ(強・弱)を表示します。(C-R40FA形のみ)
⑤ 室温	運転中における吸込空気温度を表示します。(停止中は表示しません。)
⑥ 設定温度	選択されたご希望の設定温度を表示します。
⑦ 試運転	試運転を行なうときに表示します。
⑧ 点検中	自己診断を行なう時に表示し、エラーNo.部に点検コードを表示します。
⑨ 点検	ユニットに何らかの異常が発生した場合に表示が出ます。
⑩ 接続先アドレスNo.	初期設定時・異常時に表示し、通常表示されません。
⑪ エラーNo.	ユニットに何らかの異常が発生した場合の異常コードを表示します。

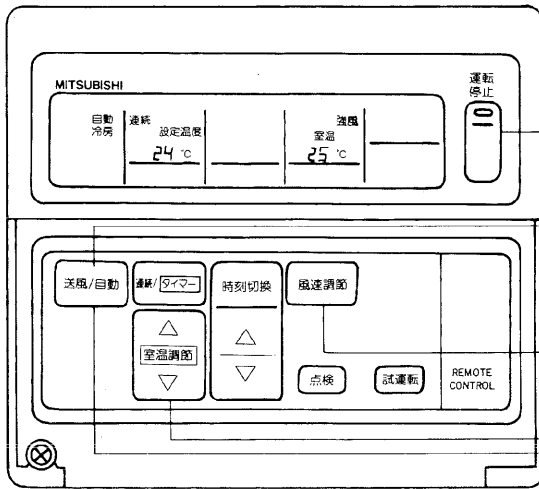
ご 注 意

- エアコンの停止時は液晶表示部はすべて消えます。
- 操作部のボタンを押しますと“ピッ”と音がし操作が行われた事をお知らせします。
- 操作部は爪等の先のとがったもので操作しないでください。操作パネルの傷付の原因となります。
- 液晶部を押さないでください。損傷の原因となります。

ご使用方法と運転内容 温調運転

温調運転のしかた

- 操作は一度セットするだけで、その後は [運転/停止] ボタンの操作だけで、繰り返しご使用になれます。冷暖自動運転は、設定温度に合わせて冷房・暖房の自動運転を行います。ご使用になる前に元電源が入っていることをお確かめください。
- [送風/自動] ボタンは、1回押すごとに“送風”・“自動”が切り換わります。運転内容は表示部で確認してください。



上図表示部の数値や図形は“自動運転時”の表示例を示します。

1 [運転/停止] ボタンを押す

2 [送風/自動] ボタンを押して“自動・冷房”表示にする。
別売電気ヒーターを組込んだ場合、初期運転モードは、室温が設定温度より高い場合は“自動冷房”、低い場合は“自動暖房”となります。

3 お好みの室温にあわせる
室温調節のしかたは8ページを参照ください。

4 運転表示モード〈冷房・暖房〉の確認 (別売電気ヒーターを組込んだ場合)
初期運転モードが希望のモードと異なる場合は [送風/自動] ボタンを2回押してください。

5 お好みの風速にあわせる (風速調節機能有の場合)

停止 [運転/停止] ボタンを押す

いったん運転を停止し、すぐに運転ボタンを押してもユニットを保護するため、約3分間は圧縮機が運転しません。約3分経過後自動的に運転を再開します。

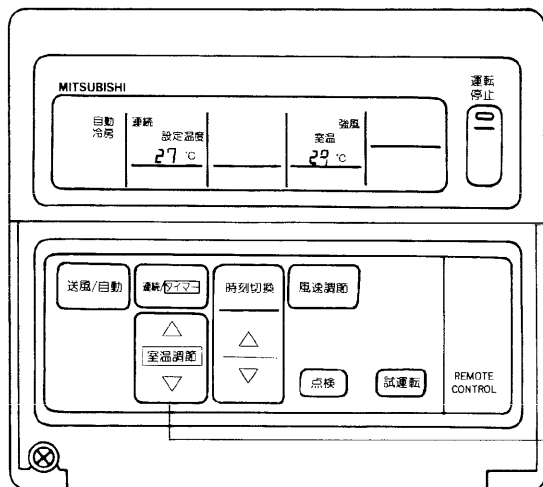
こんなときはマイコンが操作しています。異常ではありません。

自動冷房運転時	自動暖房運転時 (別売電気ヒーターを組込んだ場合)	
風速が設定通りでない	風速が設定通りでない	運転を停止しても風が出る
ユニット保護機能上、一時的に弱風になることがあります。少しお待ちいただければ、設定風速にもどります。	お部屋の温度が設定温度に達した場合は弱風となります。	運転停止後約3分間余熱排除のため室内ファンがまわります。風速は弱風となります。

ご使用方法と運転内容 室温調節のしかた

室温を変えたいときは

設定温度の変更は表示部を見ながら室温調節ボタンを押します。



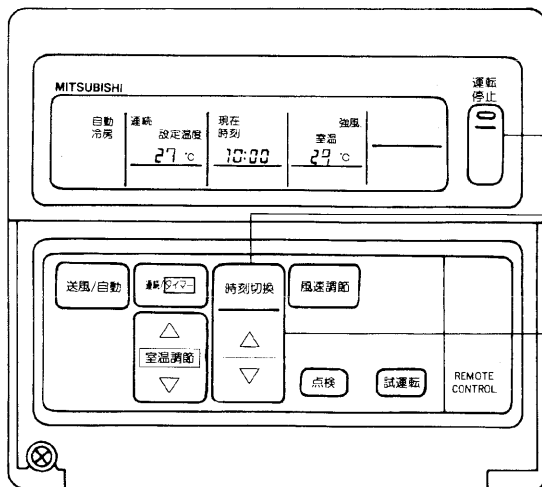
室温調節ボタンを押して
お好みの室温にセット

送風運転では室内温度の設定はできません。

▲を一度押すと設定が1℃上がります。その後連続して押し続けると、0.5秒毎に1℃ずつ連続して上がります。
▼を一度押すと設定が1℃下がります。その後連続して押し続けると、0.5秒毎に1℃ずつ連続して下がります。

ご使用方法と運転内容 現在時刻の合わせ方

- 操作は一度セットしますと、その後は「運転/停止」ボタンの操作だけで、繰り返しご使用になれます。現在時刻は「時刻切換」ボタンを押してから10秒間表示します。ご使用になる前に元電源が入っていることをお確かめください。
(エアコン使用期間中はエアコンの元電源を切らないでください。)
- 使用中に停電があったり、元電源を切った場合はリセットされますので再度セットしてください。



① 運転/停止 ボタンを押す

② 「時刻切換」ボタンを押して
「現在時刻」表示にする

③ ▲ ▼ ボタンを押して
「現在時刻」をセットする

- ▲ を一度押すと設定が1分ずつ進みます。また、ボタンを押し続けると、連続して進みます。
- ▼ を一度押すと設定が1分ずつ戻ります。また、ボタンを押し続けると、連続して戻ります。
- 時刻の合わせ方はまず時間の位を合わせ次に分の10の位、次に分の1の位を合わせてください。

例 10:35 — ③
 ②
 ①

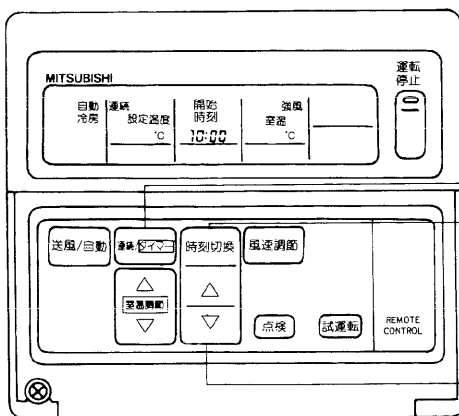
①→②→③の順に合わせる。

ご使用方法と運転内容 タイマーの使いかた

タイマーのセットのしかた

●タイマーの使用法として3通りの方法があります。

- 1.入・切タイマー…開始時刻・終了時刻ともに設定される場合。
- 2.入タイマー…開始時刻のみ設定される場合。(但し終了時刻を“--:--”にセット)
- 3.切タイマー…終了時刻のみ設定される場合。(但し開始時刻を“--:--”にセット)



1 **連続/タイマー** ボタンを押し
“連続”表示にする。

2 **時刻切換** ボタンを押し、
“開始時刻”表示にする

3 **△** **▽** ボタンを押し、
“開始時刻”をセットする

切タイマーとして使用の時は開始時刻として
“--:--”表示にセットしてください。
“--:--”表示は23:50の次に表示します。

4 **時刻切換** ボタンを押し、
“終了時刻”表示にする

5 **△** **▽** ボタンを押し、
“終了時刻”をセットする

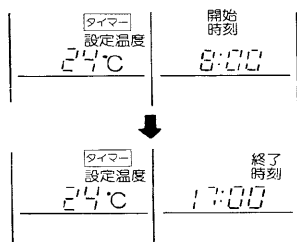
入タイマーとして使用の時は終了時刻として
“--:--”表示にセットしてください。
“--:--”表示は23:50の次に表示します。

6 **連続/タイマー** ボタンを押し
“タイマー”表示にする。

タイマー表示にしますとセット完了です。

●開始・終了時刻をお確かめになりたい場合は**タイマー**表示中に**時刻切換**ボタンを押すことにより確認できます。

タイマー設定表示例



例は8時になると運転を開始し17時になると運転を停止する入・切タイマーの設定を示します。

- △** **▽** 設定ボタンは1度押しと10分ずつ進み(戻り)ます。またボタンを押し続けると連続して進み(戻り)ます。最初に時間の位を合わせ次に分の位を合わせてください。
- 入・切タイマーモードに設定されている場合、残り時間があっても、リモコンの**運転/停止**ボタンを押せば運転あるいは停止させることができます。
- 停電があったり、元電源を切った場合は、リセットされますので、再度セットしてください。

解除 **連続/タイマー** ボタンを押し
“連続”表示にする。

タイマーのはたらき

入タイマー

会社の始業時刻などにあわせてセットします。セットした時刻になるとエアコンの運転を始めます。

切タイマー

切り忘れ防止などにご使用ください。セットした時刻になるとエアコンの運転を停止します。

運転温度範囲のめやす

本パッケージエアコンは次の範囲でご使用ください。

室内条件

高温仕様	湿球温度	15~24℃
中温仕様	//	10~24℃
低温仕様	//	5~13.5℃

外気条件

室外ユニット形名がPUTF-J125・190・250の場合

標準仕様	乾球温度	-15~43℃
------	------	---------

室外ユニット形名がPUTF-J375・500の場合

標準仕様	乾球温度	-5~43℃
低外気保償回路部品 (別売) 組込時	//	-15~43℃

天井内条件

室内ユニットを天井内に据付けてダクト接続した場合、天井内が高温多湿になりますと室内ユニットに着露することがあります。天井内の空気条件が、相対湿度85%または、露点温度23℃(※1)以上になる場合には、天井内の空気と室内空気を循環させて、それ以下に下げる、もしくは、天井内空気条件に合わせて室内ユニット表面の断熱強化を実施してください。

※1. PET形室内ユニットで中温・高温仕様でご使用の場合は露点温度25℃となります。

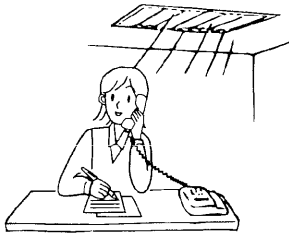
上手な使い方

上手な使い方

“エアコン”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

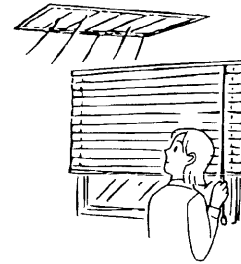
室内温度（室温）は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流を悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。
- フィルターは通常的环境下では週一回およびシーズンの始めと終わりに清掃してください。



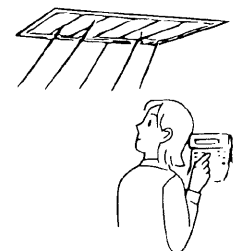
ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらしをします。
- 冷房・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。



室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重いので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くに留まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。



お手入れのしかた

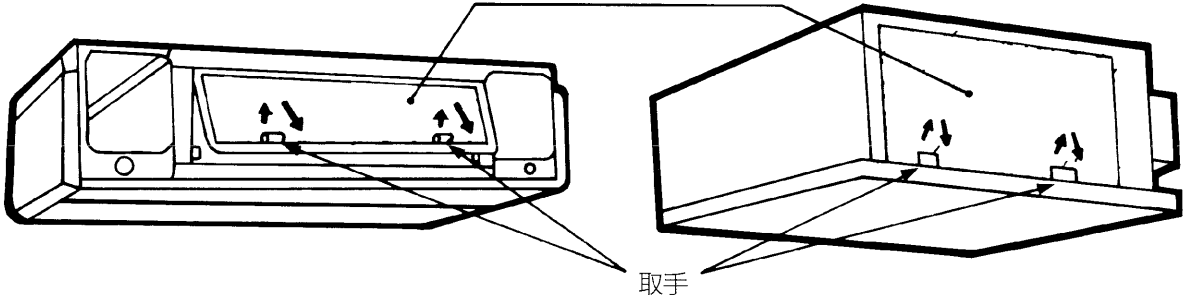
フィルター

安全のため、お手入れは元電源を切ってから…

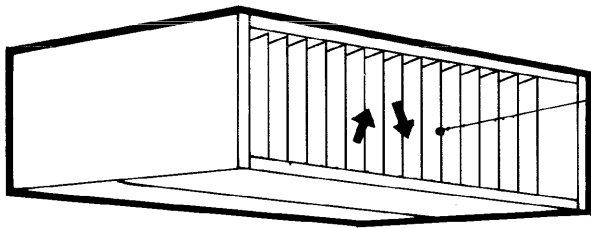
フィルターの脱着



エアフィルターの取手をつまみ上方に上げてから手前に引き出します。



取手



エアフィルターを上方に上げてから手前に引き出します。

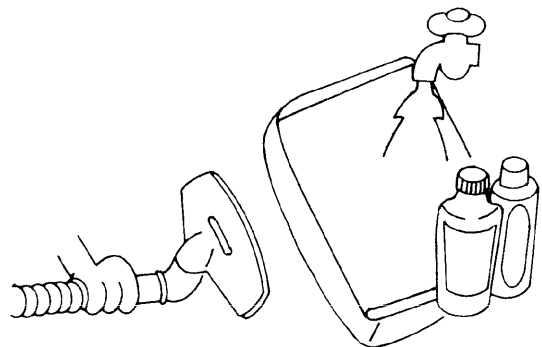
清掃のしかた

清掃は軽くはたくか、電気掃除機で清掃してください。又、汚れがひどいときは、中性洗剤をとかしたぬるま湯か水でゆすぎ洗いし、その後洗剤をよく洗い落とし、陰干し乾燥してから元の位置に取付けてください。

注) 直射日光で乾燥するとエアフィルターが変色・変形する場合があります。

ご注意

●別売高性能フィルターをご使用の場合には再生不能ですので、新しいものと交換してください。



本 体

パネル清掃のしかた

中性洗剤をやわらかな布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。



ご注意

ベンジン、シンナーの使用はさけてください。

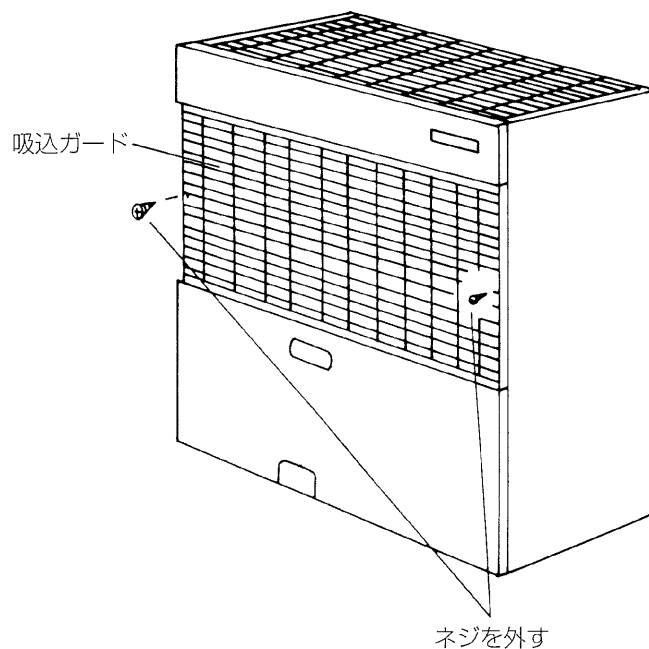


室外ユニット熱交換器の洗浄

長期間エアコンを使用しますと、室外ユニット熱交換器に、ほこりなどがつき、熱交換が悪くなって冷却能力が低下します。

●定期的に水道水等でほこり・汚れを洗い流す、もしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

〈吸込ガードの外しかた〉



こんなときには……Q&A

サービスお申しつけの前に、次の点をお調べください。

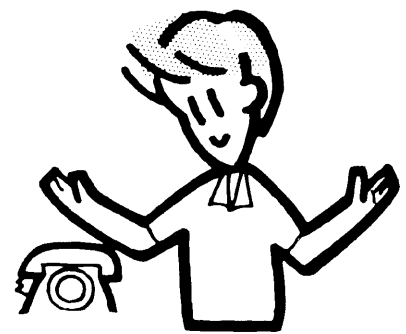
●運転スイッチを押しても運転しない……

停電している	電源が回復するのを待つ 停電解除後直ちに再始動します
元電源が切れている	元電源を入れる
漏電ブレーカーが切れている	漏電ブレーカーを入れる

●風は出ることがよく冷えない……

室温の設定温度が高すぎる	室温調節ボタンを押して希望の温度に設定する。
フィルターにホコリやゴミがつまっている	フィルターを掃除する 13ページ「フィルターの清掃のしかた」を参照
扉が確実に閉まっていない	扉を確実に閉める
室内ユニット、室外ユニットの吹出口、吸込口に障害がある 室外ユニット熱交換器にゴミが付着している	障害物を取り除く 14ページ「室外ユニット熱交換器の洗浄」参照

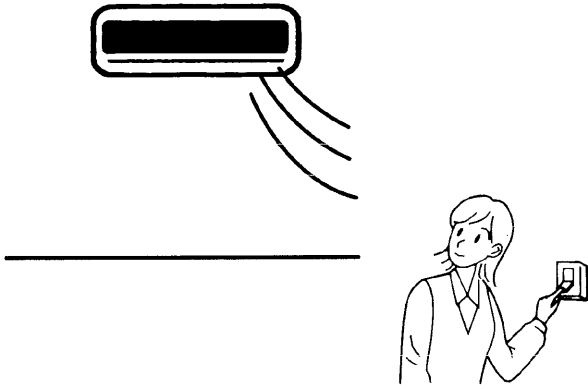
以上のことをお調べになっても、なお不具合の時は、エアコンの元電源を切り、お買上げ販売店に製品名、不具合の状況を連絡してください。また、リモコンの液晶表示部に“点検”と何らかの異常コード表示（4桁）が表れたときは、その内容を連絡してください。なおご自分での修理は、絶対にしないでください。



長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

- (1) 4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。



- (2) 室内・室外ユニットの電源を切る。

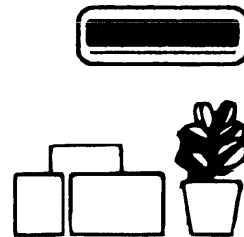
再度使い始めるとき

下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

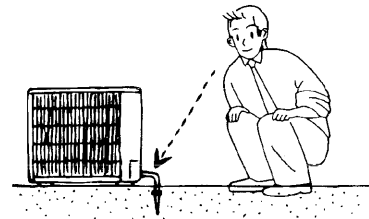
- (1) フィルターを清掃して、取付ける。



- (2) 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



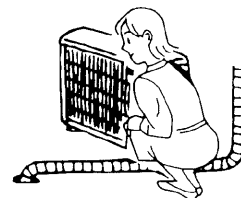
- (3) アース線が外れていないことを確認する。
室内ユニットにも取付けてある場合があります。



⚠ 注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しないでください。アース工事に不備があると、感電、発煙、発火およびノイズによる誤動作の原因になります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

- (4) ドレンホースの折曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



- (5) 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

保証とアフターサービス

■保証書は室外ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問合わせください。

■機器予防保全の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

下記は、以下のご使用条件の場合です。

- (1) 頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。）
- (2) 製品の運転時間は、10時間/日、2,500時間/年と仮定しています。
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
 - ① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
 - ② 電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません。）
 - ③ 振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
 - ④ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
 - ⑤ 頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24時間空調等）

表-1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプなど)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保守行為が生じるまでの目安期間を示していますので。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）の為に役立ててください。

また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は経済産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安【交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

表-2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間	クランクケースヒーター		8年
平滑コンデンサー		10年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）の為に役立ててください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事が出来ます。

■保証書について [保証期間は、お買上げ日または据付け日または試運転完了日から起算して1年間です。]

- 保証書はお買上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。[保証期間経過後の修理は有償になります。]
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客様に実施していただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検も伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、17ページ表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を17ページ表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

移設・工事・点検について

■移設について

- ①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
- ②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■設置場所について

- ①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
- ②次の場所への据付けは避けてください。
 - ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
 - ・粉や蒸気が多量に発生するところ
 - ・酢（酢酸）を多量に使用するところ
 - ・油煙のたちこめるところ
 - ・海浜地区等塩分の多いところ
 - ・湿気の多い場所
 - ・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
 - ・高周波加工機のあるところ
 - ・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
 - ・特殊なスプレーを頻繁に使用するところなど、エアコンの周囲雰囲気特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

- ③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。
- ④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

- ①電気工事は電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
- ②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共有しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
- ③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買上げの販売店にご確認ください。
- ④据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

- ①据付けにあたっては、エアコンの質量に十分耐え、かつ騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- ②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- ③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- ④エアコンをご使用中、異常音がする場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

仕様・別売品ご紹介

製品仕様書

室内ユニット

室内ユニット形名	PCT-J48PA	PCT-J71PA	PCT-J95PA	PCT-J95DA	PCT-J125DA	PET-J190DA(1)	PET-J250DA(1)	PET-J375DA(1)	
電源	単相 200V 50/60Hz			単相 200V 50/60Hz					
送風装置	風量 m ³ /min	20-16	27-23	40-33	38/42	48/49	76	110	147
	機外静圧 Pa	0			130/150	150/150	150		
	モーター出力 kW	0.07	0.035×2	0.07×2	0.65	0.68	0.88	1.5	1.8
外形寸法	高さ mm	260			415		428	616	718
	幅 mm	1410	1770	2250	1230	1530	1580	1731	
	奥行 mm	567			885		650	816	
製品質量 (kg)	38	50	61	85	94	84	130	140	

室外ユニット

室外ユニット形名	PUTF-J125B	PUTF-J190B	PUTF-J250B	PUTF-J375A	PUTF-J500A	
電源	三相 200V 50/60Hz					
圧縮機出力 kW	3.7	5.5	7.5	11	15	
送風装置	風量 m ³ /min	85	140	166/174	217	286
	モーター出力 kW	0.135	0.27	0.39	0.39	0.585
外形寸法	高さ mm	1445		1700	1390	
	幅 mm	1000	1500		1100	1500
	奥行 mm	500			1000	

別売部品ご紹介

室内ユニット

別売部品名	PCT-J48PA	PCT-J71PA	PCT-J95PA	PCT-J95DA	PCT-J125DA	PET-J190DA(1)	PET-J250DA(1)	PET-J375DA(1)
電気ヒーター	PAC-TS01EH	PAC-TS02EH	PAC-TS03EH	PAC-006EH	PAC-007EH	PAC-195EH	PAC-196EH	PAC-196EH
高性能フィルター	PAC-TS21HF	PAC-TS22HF	PAC-TS23HF	PAC-TS24HF	PAC-TS25HF	PAC-TS26HF	PAC-TS27HF	PAC-TS28HF
フィレドンフィルター	PAC-941FF	PAC-942FF	PAC-943FF	PAC-958FF	PAC-959FF	PAC-946FF	PAC-947FF	PAC-948FF
ロングライフフィルター	PAC-711LF	PAC-712LF	PAC-713LF	-	-	PAC-725LF	PAC-726LF	PAC-727LF
ルーバー形吹出しグリル (電気ヒーター取付時に必要)	DG-600FC	DG-800FC	DG-1200FC	-	-	-	-	-
プレナム (冷専)	-	-	-	PAC-316PL	PAC-317PL	-	-	-
プレナム (冷暖)	-	-	-	PAC-318PL	PAC-319PL	-	-	-
フレキシブルダクトフランジ	-	-	-	PAC-377FD	PAC-378FD	-	-	-
吸込みダクトフランジ	-	-	-	PAC-364DF	PAC-365DF	-	-	-

室外ユニット

別売部品名	PUTF-J125B	PUTF-J190B	PUTF-J250B	PUTF-J375A	PUTF-J500A
防雪フード	F-45C	F-75C	F-75C	F-110C	F-150C
リモコンパネル	PAC-543RC	PAC-543RC	PAC-543RC	PAC-543RC	PAC-543RC
露出化粧箱 (リモコンパネル用)	CS-11	CS-11	CS-11	CS-11	CS-11

警報システムの設置について

本ユニットには、安全確保のため、種々の保護装置が取付られています。
万一、漏電ブレーカーや保護回路が作動した場合に、警報システムや温度管理システムが十分でないと、長時間にわたりユニットの運転が停止したままになり、貯蔵品の損傷につながります。
適切な処置がすぐできるよう、警報装置の設置や、温度管理システムの確立を計画時点でご配慮くださるようお願いいたします。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年です。



ご使用の際、
このようなことは
ありませんか？

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある

ご使用中

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくとう便利です。

お買上げ店名

電話

お買上げ(据付)日

年

月

日



〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT01756X02